

# 職場・公共空間の ダイバーシティを問う

～マイノリティが働きやすい環境を考える～

A discussion on how to design spaces for our diverse society:  
what can architecture do for minority people?

近年、様々な場面で使われることの多くなった「ダイバーシティ」という言葉。

ダイバーシティとは、「多様性」と訳されることが多く、様々な違いを受け入れるという意味も含む。

企業では、性別・人種・年齢・障害を問わずに人材を活用することを意味する。

多様な人間が生活する現代の社会は、マイノリティ（少数派）にとって暮らしやすい空間だろうか。

性別、人種、国籍、宗教、年齢、学歴、障害などが異なる者の意見を聞くことで、「視点のダイバーシティ」を養い、  
誰にとっても暮らしやすい環境についてともに考えよう。

**日付：2019年12月4日（水）【参加費無料】**

**場所：札幌市男女共同参画センター大研修室（札幌市中央区北8条西5丁目札幌エルプラザ内）**

**プログラム：**

17:00 趣旨説明 谷口尚弘（北海道科学大学/AIJ 北海道支部建築計画専門委員会主査）

17:10 話題提供（40分）

①「障害者を含めた多様な人材活用と職場環境」

杉本 梢（Lululima branch 代表）

②「LGBTの日常と公共空間」

岡本 碩也（株式会社 OWNDAYS）

休憩（10分）

18:00 パネルディスカッション（60分）

パネリスト / 杉本 梢（前掲）、岡本 碩也（前掲）、福田菜々（北海道科学大学）

モデレーター / 森 傑（北海道大学）

19:00 まとめ 真境名 達哉（室蘭工業大学）

19:10 終了 \* 司会 / 石橋 達勇（北海学園大学）

主催 / 日本建築学会北海道支部建築計画専門委員会